

平成24年度学校評価結果及び学校関係者評価結果

ア 自己評価結果

重点目標		生徒自ら進んで専門分野（各教科・科目）に精通するように導くとともに、良識ある社会人としての素養が身に付くように育成する。	
分掌 学年	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
教務	SSHの実施など新しい学校の動きに対応する。	SSHの実施に対応した体制作りと今までの教務の仕事の検討課題について改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSHの実施に対応した体制は機能したが、年間の業務スケジュールを確立する必要がある。</li> <li>・各種文書や成績関係書類等の見直しを行い、改善できた。</li> <li>・曜日変更等を円滑に実施し授業時間数の曜日による偏りを解消していきたい。</li> </ul>
総務	P T A活動全体の見直しを図るとともに、総務部関連の諸行事を精選する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P T A組織の改編と実行委員会組織の効率化を図る。</li> <li>・総務関係業務の労力対効果を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の全体会の開催など新たな試みを行ったが、開催時期・回数など課題を残すことになった。諸行事については、大きく精選できなかった。</li> </ul>
生徒指導	正しい身だしなみの習慣化を図り、規範意識の確立を図る。	「生活指導強調週間」の設定と、スカート丈を標準に戻す指導を継続する。	スカート丈についてはあまり改善されていない現状があるが、地道に粘り強く指導していきたい。しかし、このように規範意識の醸成を図る中で礼節を重んじ自らを律する態度が少しずつではあるが養われてきた。
進路	生徒の状況把握と進路情報の収集に基づき、生徒の自発的将来設計に資する方策を策定する。	進路諸行事の実施内容について、生徒の状況や保護者の要望等に配慮し、適切な時期と形態を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な行事の実施形態については修正と意見の集約ができた。これを踏まえていっそうの充実への検討を加えたい。</li> <li>・学年との連携は一定果たせたが、低学年への働きかけについては「進路案内」の改善、模試のケアなど工夫検討の余地が残った。</li> </ul>
保健	校内美化を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の大掃除を、重点項目をあげて清掃活動をする。</li> <li>・生徒保健委員会の活動を活性化するなかで、校内美化意識を向上させ、生徒自ら、校内美化を図れるように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の大掃除は、意識の向上を図るために一斉清掃としたい。</li> <li>・生徒保健委員会は、教室の環境調査等を積極的に行い、校内環境の向上に努めた。</li> </ul>
生徒会	多くの生徒が主体的に活動できる企画・運営を行う。	生徒会執行部が自ら積極的な活動を行えるように適切に助言し、存在感や充実感のある取組みにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明和祭では、東日本大震災被災地の高校生徒会との交流を行い、同世代の仲間の思いを共有しようとする取組ができた。</li> <li>・生徒議会の機能がさらに充実するように指導していきたい。</li> </ul>
図書	貸出冊数の増加をめざす。	新規購入本を含む蔵書の紹介を積極的に行う。	「はいさっさ」(蔵書紹介チラシ、3回発行)、展示(8回開催)等を行い、ほぼ例年通りの貸出冊数になった。さらに各教科との連携を図り授業等での図書館の利用を活発にさせたい。
教育情報	校内ネットワークの拡張と活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の常駐する部屋で、アイシステムができるようにする。</li> <li>・共有フォルダを整理し、利用しやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西館の行政有線接続の準備を進めることができた。</li> <li>・共有フォルダへのアクセス権限の整備により利用しやすくなった。</li> <li>・校務支援システムの利用を進めていきたい。</li> </ul>
教育相談	生徒の学校生活への適応を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒相談や特別支援に関する研究と職員への研修を行う。</li> <li>・具体的な特別支援計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレペリン説明会の実施、「ちよつとした読みもの」の発行などで職員の研修に努めた。</li> <li>・具体的な特別支援計画を作成し、効果をあげることができた。</li> </ul>

分掌学年	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
音楽	知識と感性の調和を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習などを通して、幅広く芸術への関心を持たせる。</li> <li>・普通教科への取組を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習のための事前学習や発表により、講座への積極的な参加ができた。普通教科の学習については計画的に取り組む姿勢を徹底させたい。</li> <li>・日常生活では、周囲への配慮ができるように指導していきたい。</li> </ul>
1年	基本的な生活習慣を確立させ、基礎的な学力をつけさせる。	時間を効率よく使い、日々の授業と家庭学習に取り組む姿勢を確立させる。	時間の遵守等、校内における基本的な生活習慣は確立できた。行事・部活動と家庭学習の両立と進路目標への意識づけをより高い水準で目指したい。
2年	学校の中核を成す学年として何事にも積極的に取り組む。	学習、進路、修学旅行、学校祭、部活動等の学校生活において、生徒が積極的に取り組めるよう、指導・助言する。	学校行事や部活動等において、積極的に取り組み、中核を成す学年としての意識のもと、自主自立の精神が少しずつ育まれつつある。3年生に向けて、学習面や進路面への一層の好影響が期待される。
3年	生徒の進路実現を図る。	生徒の進路希望・学習状況の情報を学年会で共有し、適切な進路指導と学習指導を展開する。	学年で協力して、時宜を得た適切な進路指導・学習指導を展開することができた。最後まで高い目標を持たせ続けることが課題である。
総合評価		生徒が自ら進んで活動するように、様々な分掌・学年で具体的な工夫・改善策を実施した。また、社会人としてのモラルが身に付くように、学校全体で意識して取り組むことができた。今後もSSH事業を活用するなどして、目標の実現に努力していきたい。	

#### イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に精通する人材を育てることができたか。</li> <li>・社会人としての素養を身に付けさせることができたか。</li> </ul>
自己評価結果について	SSH事業を活用して、生徒が自ら進んで様々な専門分野を学んでいる。また、基本的な生活習慣や規範意識を育てる取組を各分掌、学年が様々な場面を通して行い、成果をあげている。今後も継続して努力してもらいたい。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSHの取組に期待している。アンケート結果を見ると、保護者への説明が不十分のようなので、周知できるとよい。</li> <li>・保護者アンケートに答えたが、保護者の意見だけでなく、生徒たちの声はどうかについても知りたい。</li> <li>・外からの刺激を受けることは、成長につながる。SSHも活用しながら、広い世界に目を向けて行ってほしい。</li> </ul>
今後の改善方策について	SSHの取組についての保護者の理解を深めるために、研究報告書のダイジェスト版を作成する。また、生徒の視野をさらに広げ、学校の活性化を図るために、国際交流を推進していく。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	構成……学校評議員4名及びPTA会長・副会長 評価時期……3月1日